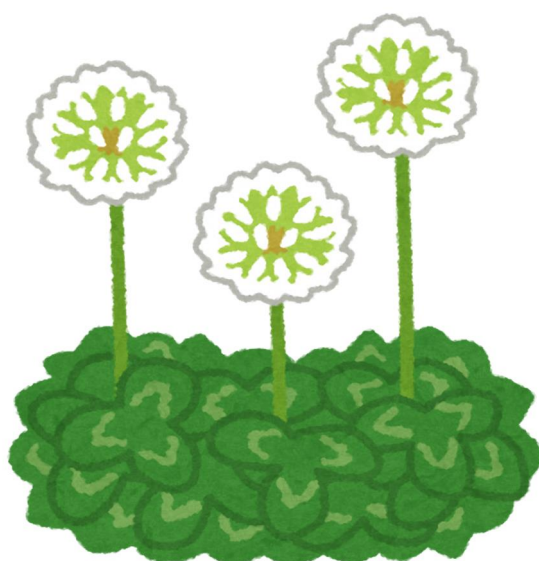


令和4年度

自分らしく生きよう！

いきいきフォーラム

記録集



# 目 次

◇ はじめに	1
◇ 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム 開催概要	2
◇ 当日の様子	3
◇ チラシ「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」	4
◇ 講演内容	5
◇ 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム アンケート	9
◇ パープルリボン展	17
◇ チラシ「パープルリボン展作品募集」	21
◇ 実行委員の思い	22
◇ 実行委員会 年間の流れ	31
◇ 男女共同参画に係るキーワード	32
◇ 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員紹介	35



## はじめに

日本では、憲法や民法などで男女平等が定められていますが、本当の男女平等を感じられる社会とは言えない環境でした。そこで、【男女共同参画社会基本法】は1999年に、国民すべてが、性別に関係なく、個性と能力を發揮できる社会の実現を目指し制定されました。

これは、性別を問わず、あらゆる社会活動の中で対等で、利益や権利、責任などを平等に分ち合える社会を目指すための法律です。

向日市では、市民参画形式で、公募により集まった実行委員により、人権やジェンダー平等など男女共同参画社会について話し合い、意見交換を交わしながらフォーラムの企画・運営を行っていきます。

自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会では、一人ひとりが尊重され、誰もが対等な立場で、職場、家庭、地域など、あらゆる社会活動での男女共同参画社会の実現を願って活動を続けています。

令和5年3月

自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会

## 令和4年度 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム開催概要

- 1 日時 令和4年12月10日（土）午後1時30分～3時10分
- 2 場所 イオンモール京都桂川3階 イオンホール
- 3 内容 講演 日常生活から学ぼうジェンダー論  
～笑って考える新しい女男（ひと）のあり方～  
  
講師 瀬地山 角さん（東京大学大学院総合文化研究科教授）  
  
同時開催 パープルリボン展・人権パネル展
- 4 参加者 95名（手話通訳者、要約筆記者含む）  
  
参加者アンケート回収数 63枚（回収率 84%）  
（アンケートの詳細は、9ページをご覧ください）

### 【瀬地山 角さんのプロフィール】

#### ○瀬地山 角 さん

（せちやま かく ・ 東京大学大学院総合文化研究科教授）



1963年生まれ、奈良県のご出身、東京大学大学院総合文化研究科博士課程を修了されました。10年間2人の子供の保育園の送迎を一手に担われ、子連れで渡米し父子家庭もご経験されました。

今でも毎日の夕食作りを担当するジェンダー論の研究者で、2009年より東京大学大学院総合文化研究科教授に就任されています。

ジェンダー論の講義は、毎年500人以上の立ち見が出る人気講座で、日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人へのアンケートで人気No.1に選ばれました。現在、抱腹絶倒（ほうふくぜつとう）の講演で日本全国を行脚中。

## 当日の様子

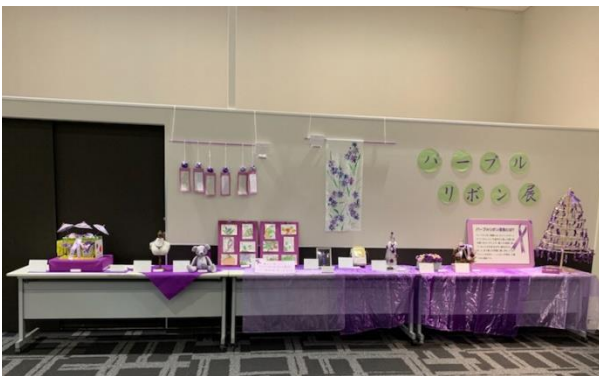


たくさんのお客様が参加してくださいました！

司会も実行委員が担当します。

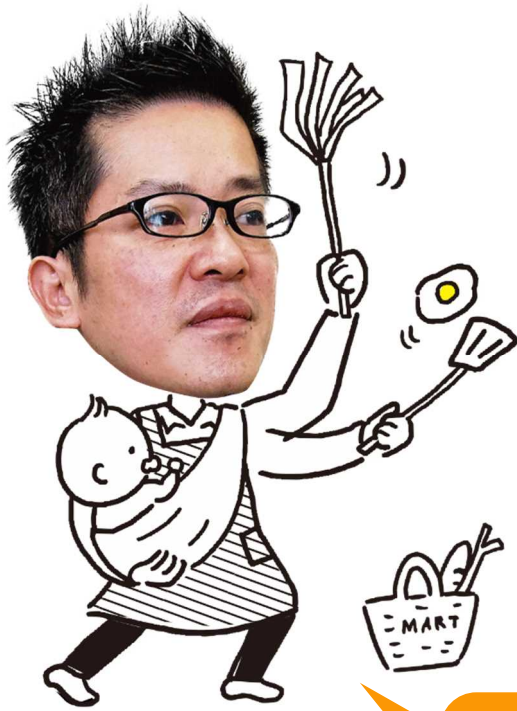


今年もたくさんのパープルリボン（女性に対する暴力をなくすためのシンボル）作品を展示しました。



受付・司会だけでなく、準備、会場整理、写真撮影、講師の接待、記録集編集、総括といきいきフォーラム実行委員は、見えないところからもフォーラムを支えています。





(c)HONOTA design

# 日常生活から 学ぼう ジェンダー論 ～笑って考える新しい 女男（ひと）のあり方～

お子様・赤ちゃん連れ大歓迎！

会場へご一緒にご参加ください！

参加  
無料

## 講師 瀬地山 角さん

10年間2人の子どもの保育園の送迎を一手に担い、今でも毎日の夕食作りを担当するジェンダー論の研究者。男女差別、主婦優遇対策、子育てなど、女と男の「社会的性差」について、身近な日常の例をもとにわかりやすく語ります。世界一受けたい授業で東大人気講義 No.1 に選ばれた講師。ヘタな漫才より笑えます。

日時

12月10日 土

午後1時30分～午後3時10分  
(午後1時開場)

## 会場

イオンモール京都桂川3階イオンホール

※専用の駐車場はありません。イオンモール京都桂川の駐車場を利用する場合は通常の駐車料金がかかります。

## 定員

先着100名

※優先入場券の配布を行います。  
※手話通訳・要約筆記あります。

### 優先入場券

11月1日（火）からお一人さま2枚まで配布します。

お子様で座席が不要な方は、優先入場券は不要です。

配布場所：広聴協働課（市役所本館）、東向日別館（3階案内係）、女性活躍センター、図書館、各コミセン、地区公民館、その他公共施設

当日参加も空きがあればご入場いただけます。

お子様も会場と一緒にご参加いただけますが、ご希望の方には一時保育を行います。

申込期日：11月18日（金）

定員：5名（先着順）

向日市制施行50周年  
つなごう、明日のむこうへ

問い合わせ・一時保育申し込み

向日市 ふるさと創生推進部 広聴協働課

電話（075）874-1409 FAX（075）922-6587

電子メール kyodo@city.muko.lg.jp

主催 向日市、いきいきフォーラム実行委員会





## 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム 講演内容

日時：2022年12月10日（土） 午後1時30分～3時10分

講師：東京大学大学院総合文化研究科教授 瀬地山 角 さん

### 日常生活から学ぼうジェンダー論

～笑って考える新しい女男（ひと）のあり方～

#### 【本文】

東京大学には保育所が8か所あり、そのうちの1か所について、NPO法人の理事として経営に関わっています。出産は生物学的性差で男性にはできませんが、育児で男性にできないことは授乳を含めて何一つ無いと、子育ての中で自信を持って言えるようになりました。私の専門はジェンダー論という分野で、ジェンダーというのは「社会的性差」という意味の言葉です。「男性だから女性だから〇〇しなければ」と私たちが思っていることのほとんどは生まれつき決まっているものではなく人が考えたものにすぎず、人と人が相談して変えていくことができるのです。

孫育てについて、親は子どもの家庭に口出しするのではなく、「く・ち・だ・す・な」を意識してください。育児の常識は時代によって変化しているため、自分たちの時代と比べて口を出してもいいことはありません。口を出していいのは、ご自身の息子さんが家事・育児をしていないときだけです。これからの時代、男性には家事力、女性には経済力が必要です。共働きは男性が家事をやらないと成立しません。パートナーが倒れた時にコンビニで弁当を買ってくることしかできないのではいけません。単に性別による役割分担云々ではなく、人生におけるリスク管理として必要な能力であるため男性が倒れた時に女性の経済力は必ず必要なのです。

男性が簡単にできる家事・育児の超入門編を2点ご紹介すると、①休日のお昼ご飯。ベランダにブルーシートを敷いてカセットコンロでレトルトカレーを作って食べるだけもかまいません。子どもはそれで喜ぶしパートナーの自由時間を作ることができます。②平日の朝食。毎日同じものでもいいし、技術はほとんど必要なく、時間は10分で済みます。他方でパートナーの身支度の時間が確保できるので、時間と手間の割には評価の高い家事です。

配偶者控除は離婚が多い現代において撤廃すべきと考えています。1998年から2021年まで結婚件数分の離婚件数は24年連続して3割を超えています。母子家庭には配偶者控除は無力であるため、撤廃した上で、子ども手当につけかえるべきと考えています。ただ、控除を考える前に、男性の家事・育児時間が少なすぎる点を問題にすべきだと思います。共働き世帯の男性の家事・育児関連時間が週平均1日59分に対し女性が4時間56分、6歳未満の子どもを持つ男性の育児時間が週平均1日65分に対し女性が3時間56分というデータがあります。このよ

うな男性の著しく短い家事・育児時間は、社会的に問題にしないといけない水準だと考えています。

出生動向基本調査という国の調査において、独身の男性に対し結婚において相手に求めることを聞いた結果、人柄を除くと家事育児の能力、仕事への理解、容姿が上位に入っています。次に、女性が男性に求めることは、人柄を除くと家事育児の能力がトップであり、先ほど息子さんが家事・育児をしていないときだけ口を出すべきと言ったのはこれが背景にあるからです。明らかに男性の家事育児が足りていません。また、女性の予定ライフコースとして、結婚後専業主婦になろうと思っている女性はバブルの頃は1/4ほどいたのに今やわずか3.6%です。男性の方についても、専業主婦になってほしいと思っている人は6.8%であり、専業主婦になりたい、なっていないという人は完全にマイノリティーになっています。そのようにライフコースの予想は変化しているにもかかわらず、現代もなお、女性が仕事も家事も行っているのが実情です。

#### ～CMの紹介～

メーカーや時代の違いによって、男性の家庭内での役割が大きく異なっています。例えば、男性が家事を全く行わない家庭のCMもあれば、男性が夕食を作っているCMもあります。また、男性が体調不良を訴えても「働け」と促されるCMもあり、時代によって様々な家庭像が見られます。

植林をする林業者と植林をしない林業者では、競争をすれば勝つのはもちろん手間がなくコストの安い植林をしない林業者であります。将来のコスト・リスクを考え、保水力を失った山林による大水害が起こることを考えると、高くても植林をする林業者の木を買うべきです。労働市場においても同じことが言えます。採用面接において男性には家事・育児のことを聞かず、女性には聞く、そして、家事・育児時間の少ない男性を採用する傾向になり、その結果、そういった人材で成り立った会社ができます。これが社会的に起きることで少子化に繋がっているのであり、先ほどの話でいうと植林をしない林業者が男性なのです。会社は育児で休まない男性ばかりを採用して、家事・育児のコストを回避しています。そのようなことを繰り返すことで少子化に繋がっているため、男性も女性も育休を取ることが当たり前にならないといけません。家庭と仕事の両立、ワークライフバランスは男性の問題です。

忌引きと同程度に男性の産休・育休を普及させるべきと考えています。忌引きは厚労省の分類では、「社会的に認知された休暇」とされており法的根拠はなく、忌引きを認めなかったとしても労働基準法違反にはなりません。忌引きは法的根拠がなくても社会的に認められているのに対し、産休・育休は法的な制度もあり給付金も出るのにもかかわらず認められにくい風潮にあります。「死」は急にきて予定が立てられませんが、「生」は事前にある程度把握できて予定が立てられます。どうして会社が休暇の調整できないのか疑問に思います。人生に家族の誕生と死以上の大事件などないはずですが。



女性は第1子の出産で正社員をやめてしまう人が多いですが、地方公務員で出産後辞める人はまずいませんし、例えば30歳で育休から復帰したとすると、残りの30年間で約2億円稼ぎます。30代で年収300万円ほどの方であっても1億円は稼ぎます。日本の社会は一旦正社員から離れてしまうと、再度正社員に戻る事が難しい社会です。第1子出産を期に辞めてしまうことは宝くじの当たりくじを捨てているようなものであり、女性もフルタイムで働けば稼ぐことができます。それにもかかわらず、家事・育児の平均時間が男性1時間に対し女性が5時間というのは考えられません、これは足して半分に割るべきです。男性が1日平均3時間家事・育児を行うことで、計算上女性はフルタイムで働くことができます。1日平均3時間ということは年間約1,000時間であり、例えば女性がフルタイムで働けることにより350万円稼ぐとすると、男性の家事・育児は時給3,500円ということになります。しかも、その350万円を男性が残業で追加で稼ぐのは不可能ですし、残業の時間単価よりも家事・育児を行った際に換算した時給の方が高くなるはずですが。そのような合理的な行動がどうしても広まらないのかというと、男性が勘違いをして自分のアウトプットを最優先し、女性をサポートにつけようとするからです。そうではなく、2人のアウトプットを最大化する作戦をとれば、家計は飛躍的に豊かになるため、男性にとって全く損な話ではありません。

今回、正規社員の話を多くしましたが、パートの100万円も大きな収入です。稼ぎが少ない方が家事をするのではなく、しっかりと各々の負担を相談しあっていただく必要があります。内閣府男女共同参画局において「〇〇家作戦会議」というシートが作られていますので、見ていただきたいと思います。

ある県立の進学校の進学先を見ると、通学圏にある地元の旧帝大は現役だと50：57で女子のほうが多くなっています。ところが、東大は11：0、京大は17：3であり、地元旧帝大でも浪人すると30：5になります。つまり女の子は家元から通わせる、女の子は浪人するなというプレッシャーがかかることで進学先がゆがんでしまっていることが明らかです。女の子だけそういったチャンスをもらえていないことが、結果として日本の社会におかしなことをもたらしていると考えています。

男女共同参画に関する言葉についてですが、90年代に「女性問題」といった言葉が使われるようになりました。性別にかかわらずという文言がとても重要であり、これは異質平等論を否定しています。要するに、男性と女性は違うけど平等ということを明確に否定しています。腕力などの違いは平均値と分布が違うだけであり、腕力の弱い男性や強い女性がいることから個人の差は必ず性差を超えます。そのため、性別からの自由を考えていけないといけませんし、忘れないでいただきたいと思います。

## 【質疑応答】

Q：配偶者控除について、個人税制が基本になるべきと思いますが先生のお考えはいかがですか？

A：子どもについては何らかの所得控除なり税額控除が必要になりますことから、どこに所属させるのかといった問題があります。もう1点、世帯所得を合算にすると、例えば片方が1,000万円を稼ぎもう片方は0の世帯、どちらも500万円稼ぐ世帯で比較すると、共働き世帯のほうが課税されてしまい、共働きへの抑制効果に繋がることから制度的に考えないといけないと思っています。

Q：以前デンマークの話聞いたときに、税金は高いけれども、どんな状態になっても必ず社会が助けてくれると聞きました。これからの子どもたちについても北欧と同じように社会で支えていけばいいのではないかと考えますが先生のお考えはどうですか？

A：北欧のような社会保障充実を目指そうとすると、今すぐ増税が必要ですが、それに対して国民が理解を示さない限りは実現できるものではありません。日本の有権者は財政赤字を放置して増税を避けるという非合理的な行動をとるので、ご指摘の政策は支持されません。

Q：先生のお考えは、ご両親のお考えが反映されているのでしょうか。

A：母は定年になるまで働いていましたが、父は家事をまったくやっていませんでした。そのような父親にはなりたくないと思い、反面教師にしていました。

※この文章は講演の内容を自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会の責任で要約したものです。

## 令和4年度「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」アンケート

今後、本市の男女共同参画事業の参考にするため、アンケートにご協力をお願いします。  
(※ 該当するものに○印または記入してください。複数回答可。)

差し支えなければお答えください。

- 性別 ( )
- 年齢 ( 歳代)
- 住所 物集女・寺戸・森本・鶏冠井・向日・上植野・市外( )

1 今回の「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」をどのように知りましたか？

- ①広報むこう ②公共施設でのチラシ ③知人から
- ④その他 ( )

2 この催しに参加された動機は何ですか？

- ①講師または講演に興味があって ②男女共同参画事業について関心があって
- ③余暇の利用 ④その他 ( )

3 講演「日常生活から学ぼう ジェンダー論」  
～笑って考える新しい女男（ひと）のあり方～  
講師 瀬地山 角さまについてお聞かせください。

(1) 内容はいかがでしたか。

- ①よかった ②まあまあよかった ③どちらともいえない ④よくなかった

(2) 新しい発見はありましたか。

- ①あった ②まあまああった ③どちらともいえない ④あまりなかった
- 感想(講演のテーマや内容、講師等について)

- 4 今回の「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム（人権パネル展、パープルリボン展を含む）」はいかがでしたか？

ご意見・ご感想がございましたらお聞かせください。

- ①よかった ②まあまあよかった ③どちらともいえない ④よくなかった

感想

( )

- 5 今後、「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」についてどのような催しを期待しますか？

(具体的もしくは抽象的な内容・人名などでも結構です。)

- ①講演会 ( )  
②映画 ( )  
③その他 ( )

- 6 これまでの5年間で、男女共同参画や人権に関する講演会・研修会に参加されたことがありますか？

- ①今日がはじめて ②1～2回 ③3～4回 ④5回以上

- 7 イベントに参加して、男女共同参画や人権についての関心や理解は深まりましたか？

- ①深まった ②どちらかといえば深まった ③変わらない ④わからない

- 8 今後もこのようなイベントに参加したいと思いませんか？

- ①はい ②いいえ ③わからない

- 9 向日市は個人や男女の人権が尊重された豊かな社会になっていると思いませんか？

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う  
③どちらかと言えばそう思わない ④そう思わない ⑤わからない

- 10 その他、お気づきの点がございましたら記入してください。

( )

ご協力ありがとうございました。

R4 いきいきフォーラム 参加者アンケートの結果

参加者数	75人
アンケート	63人

性×年代別	女性	男性	無回答	合計
10歳代	1	0	0	1
20歳代	1	0	1	2
30歳代	2	2	0	4
40歳代	2	0	0	2
50歳代	4	1	1	6
60歳代	13	2	0	15
70歳代	19	0	0	19
80歳代	8	1	0	9
90歳代	1	0	0	1
無回答	1	0	3	4
合計	52	6	5	63

お住まい	
物集女	3
寺戸	26
森本	7
鶏冠井	4
向日	1
上植野	11
市外	7
無回答	4
合計	63

フォーラムを知った手段(複数回答)	
広報むこう	14
公共施設でのチラシ	11
知人から	35
LINE	2
その他	6
合計	68
[その他]	
・新婦人向日支部の集まり	
・家族から	
・回覧板	

この催しに参加された動機(複数回答)	
講師また講演に興味があって	36
男女共同参画事業について関心がある	19
余暇の利用	5
その他	6
合計	66
[その他]	
・友人に誘われて	
・要約筆記に興味あり	
・知人に誘われて	
・話を聞いた方が貴方には良いと思うといわれて	
・パープルリボン展	

講演内容について	
よかった	48
まあまあよかった	13
どちらともいえない	1
よくなかった	0
合計	62

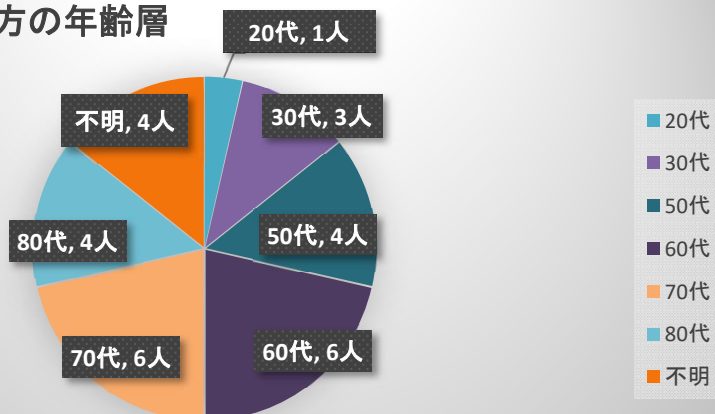
新しい発見はありましたか	
あった	39
まあまああった	15
どちらともいえない	3
あまりなかった	0
合計	57

フォーラム(人権パネル展含む全体)について	
よかった	31
まあまあよかった	13
どちらともいえない	1
よくなかった	0
合計	45

今後期待する催し	
講演会	16
[内容(自由記載)] 人権、差別、ジェンダー、子育て関連の講演、少子高齢化対策について、大学教員を呼ぶのは良いと思う、介護について、男女参画問題	
映画	6
[内容(自由記載)] 人権、差別、ジェンダー、男女参画問題	
その他	1
[内容(自由記載)] 人権、差別、ジェンダー	
合計	23

過去5年の参加回数	
今回初めて	28
1～2回	9
3～4回	13
5回以上	4
合計	54

今回初めての方の年齢層





参加して男女共同参画の関心や理解は深まったか	
深まった	25
どちらかといえば深まった	20
変わらない	2
わからない	1
合計	48

今後も参加したいと思うか	
はい	46
いいえ	0
わからない	8
合計	54

向日市は人権が尊重された豊かな社会になっていると思うか	
そう思う	1
どちらかと言えばそう思う	16
どちらかと言えばそう思わない	6
そう思わない	5
わからない	24
合計	52

## 当日アンケート自由記載項目

### 講演会について

#### 感想(講演のテーマや内容、講師等について)

1	感激しました。向日市に来て下さってありがとうございます。男性や若い層がもっと受講してくれていたらと、とてももったいない良いお話でした！(70代・女性)
2	ありがとうございました！笑えました(^)ただ、男性の育児時間の短さや意識について、男性が「女は家を守るもの！」と個人的に思っている人が多くて、今このような状態になっている訳ではなく、あきらかに国(財界?)が意図的に作り出した現状なのではないのかなと思っています。個人でできること+社会(政治)を変える努力もあわせて行動したいです。(30代・女性)
3	男性が家事を行う事のメリット家事コストを女性のみ押しつける事の将来世代へのデメリットなど新たな視点が身につけられたと思います。増税に反対する有権者のレベルの低さが問題だと言われていましたが、国民に信頼される行動を取っていない政府与党にも問題が有ると思っています。私個人としては信頼できる政府であれば消費税が上がっても法人税増税により経常利益が下がってボーナスが減ってもかまいません。本日は貴重なお話をありがとうございました。(30代・男性)
4	今回の講演にあるような考え方(2人で家計と家事を分担して最大値をとるとか)が当たり前な社会になれば良いなと思いました。知らない(思い至らない)人の方がまだまだ多いと思うので、正しく浸透して行ってほしいし、広められるようにちゃんと考えていきたいです。(20代・女性)
5	講演部分で90分とれるようなスケジュールにすべき。開会のあいさつを90分に含めないで。(20代・女性)
6	とてもわかりやすいお話で、良かったです。孫が不登校生で中学に通っていませんが、料理もせんたくも家事も良くてできます。そんな力があつたら大丈夫と思えました。(70代・女性)
7	手話の人が、前出すぎです。せっかくの先生が、手話等入れてたのしい話がわからない時もあった。手話の人は上段へあがらずに下で話してほしかった。(80代・女性)
8	政治のことは解りにくく、少しわかってきました。(80代・女性)
9	笑いがある講演で集中して聞けるためになり、良い時間を過ごせました。(70代・女性)
10	働く女性のことをよく調べており、ごく普通の人達の味方と思う。特別な能力のない者はやはり働いて食べていけないといけないうえ、共働きは当たり前になってほしい。ただそのためには男性だけが意識改革してもなかなかで、国の政策なども変えてほしい。(70代・女性)
11	興味深いお話はたくさんでよい学びができました。ネットに詳しくないので知らない講師の方でしたが、よくぞ講師に迎えて下さいました。ありがとうございました。(70代・女性)
12	語り口がともかく面白い、そして中身がふにおちる、講師選びに敬服！(70代・女性)
13	ジョークなどを取り入れていたので話がわかりやすく内容もすんなりと入ってきた。(40代・女性)
14	配偶者控除やめることについて新しい発見、良いことと思います。男性も女性も働く時間が正規でも長すぎでお話の内容より賃金もひくい。楽しくわらって教えて頂きました。ありがとうございました。(70代・女性)
15	植林をする林業者を見きわめる眼をもたなければいけないと反省しました。今ある世の中の常識みたいなものを疑ってみる態度も本当に大切だと改めて感じた。(60代・女性)
16	また瀬地山氏の講演があれば行きたい。(60代・女性)
17	次回も必ず来たいと思います。(70代・女性)
18	社会福祉を充実させること、本当に消費税を15~20%にすればやってくれるのか信用できないと思っている。やってくれれば賛成できるが、、、(50代)
19	配偶者控除の撤廃についての考え方が参考。世帯にすると加税強化になるのは納得できない。(60代・女性)
20	分かりやすく楽しいお話で良かったです。私の子供にも役に立つお話でしたので伝えたいと思います。(50代・女性)
21	今の世代子育てに男性の力が不可欠であると思います。息子に今日の講話を話し合っていきたいと思います。(70代・女性)
22	先生の育児には全面的に賛同。(80代・女性)

23	先生のお話は理解できますが現実はなかなかむずかしい。男性にも聞いてほしい内容でした。(70代・女性)
24	主人と共に考えたく思います。本日はありがとうございました。(80代・女性)
25	男に家事力、女に経済力に納得。控除の廃止に賛成。(50代・女性)
26	向日市産休取得率50%と市長が言って「エー！！」ハッサリ切って頂きスッキリしました。50%は大ウソです。(60代・女性)
27	なかなか興味深い事が話されていて新しい発見もありました。「男は家事力、女は経済力」大切な事だと思いました。(70代・女性)
28	今日の講演は実践的でよかったと思う。先生のジェンダー論を若い男女につたえてゆきたいと思います。ありがとうございました。(80代・女性)
29	私自身の考えを変えないといけないと思いました。とっても楽しくすーっと入って来ました。周りの人にも話します。男性の家事は家庭内のことだけではなく社会にも関係しているとのことはとしました。(60代・女性)
30	「社会的に」この一言の意味がよくわかりました。(不明)
31	いろいろな問題がからみあっている内容で、考えているだけではダメなことだと感じました。(60代・女性)
32	CMを使って色々すりこまれていることもあるのか！？と驚きました。テレビなどもボーッと見てはいけませんね問題をいつも考えていかなければと思いました。(不明)
33	テーマだけでは難しいのかなーとと思っていましたが内容はとっても分かりやすくうなずく事ばかりでした。とっても良かったです(80代・女性)
34	結婚の条件で求められている所で女性が男性に望む所が？に思った。(80代・男性)
35	ユーモアを踏まえたジェンダー論を聞いて道が開けたように思います。男の孫三人の為に参考になりました。(70代・女性)
36	おもしろくお話を聞かせてもらいました。息子の代は大変な事がある様でこれからどうして行くのか考えているのか。(60代・女性)
37	ジェンダー夫はダメだったので息子には注意して育てました。子育てにも参加、料理もします。でも先生の話聞きまだーだと思います。今日、夕食の時、講演の内容を話したいと思います。(60代・女性)
38	男性の会社の空気が変わらないと、国がルールを決めても変わらないと思いました。女性の産休、育休も会社の取れるルールがあっても取れない空気があったら意味がないと思いました。私も正社員を続けていたらと考えました。(50代・女性)
39	共働きなのか、自分の日々の生活で感じるモヤモヤを目に見える数字や形で分かるようにしてもらえてとてもスッキリしました。同時に共働きとはいえパートで働いている事を改めて考えていった方が良いのではないかと考えさせられました。今2才の息子がいます。自分の力で生活していけるよう、これから一つずつ教えていきたいと思います。(30代・女性)
40	具体的な例、身近な問題からジェンダー問題を考えることが出来てとても有意義でした。出席者の年齢層が講師に伝わっていなかったようで、とまどっておられたようですね。(90代・女性)

今回の「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム(人権パネル展、パープルリボン展含む)」  
はいかがでしたか？

1	手段や象徴が目的にならないといいなと思います。(20代・女性)
2	パープルリボン展の作品がどの作品も力作でよかった。特に「鶴と傘」が良かったです。(70代・女性)
3	先生が早口で語尾が少し分からない。(70代・女性)
4	講師の話し方が楽しかった。早くしゃべるのに要約筆記がついていることがすごいなど。(60代・女性)
5	先生の夫婦の関係の話が聞きたかったです。(60代・女性)
6	入る時説明がなかったのを見る機会がなかった。座席について動いていなかった。(80代・男性)

その他気づいた点について

1	折角の良い講演でも聞き手の質でも今後の未来は変わると思います。小(中・高)学生にこそ聞いてほしい講演でした。賢い有権者を育てましょう。(20代・女性)
2	市議の選挙に関わるような発言は好ましくなかった。(20代・女性)
3	先生の顔が見えない(手話の方が前に出すぎ)先生と一列に並べられたらと思います。(70代・女性)
4	口債乱発より消費税増税に目くら立てる「愚」。なる程と思いました。(70代・女性)
5	久しぶりに講演をきき楽しい一時をすごしました。とても良かったです。(70代・女性)
6	本日の参加者はほとんど女性(高齢)でした。男性にこそ聞いて欲しい内容でした。(ちなみに私のパートナーさんは全く家事をしません。私がきちんと話をしないで今日までできてしまいましたと反省しています。)(不明)
7	個人的には障がい者が地域で暮らしていけるような指導者や補助がもっとあったらいいのと思う。家族の負担が大きすぎる(70代・女性)
8	今日、私は母が向日市の公式LINEでこの催しを知り、教えてもらって参加しました。若い人は向日市のHPやLINEを見ることが少ないと思うので、例えばSNSや駅に広告を出すなど若い人の目にとまるような広告があればもっと若い人の参加率が上がると感じました。(10代・女性)



# パールリボン展



絵てがみ



光を運ぶもの



絵手紙



鶴と傘



ポシェットいっぱい幸せ





パールリボンとの出会い



アイロンピースを使った作品



温かい居場所



温良篤厚  
No Woman, No Cry  
一視同仁  
惜玉憐香



パールフラワー





野の花



フラワーリースに想いを込めて



願い



onnellinen(幸せを灯すツリー)  
いきいきフォーラム



8回目となる今回のパープルリボン展に、多くの応募をいただき、  
ありがとうございました。

向日市女性活躍センターあすもあや講演会開催時に展示し、多くの方が関心を  
寄せ、鑑賞されました。







～暴力がなくなっしてほしいという想いを込めて～

# パープルリボン展

作品集  
募集

パープルリボンは、「女性に対する暴力をなくす運動」の国際的なシンボルマークです。このパープルリボンをモチーフにした、女性に対する暴力がなくなっほしいという想いが込められた作品を募集し、「パープルリボン展」を開催します。

## 募集内容

パープルリボンをテーマにしたオリジナル作品～絵画、手芸、造形など～

- 1人で持ち運びができるサイズ・重さのもの
- 映像・食品不可

◆ 募集期間 11月1日(火)～11月14日(月)  
9時～17時

※向日市女性活躍センター休館日は除く。

◆ 展示日・場所

・日時：11月21日(月)～12月6日(火) 9時～17時  
※向日市女性活躍センター休館日は除く。

場所：女性活躍センター お試しオフィス

・日時：12月10日(土) 13時～15時10分  
(同時開催：いきいきフォーラム)

場所：イオンモール京都桂川3階 イオンホール

◆ 応募方法 作品と応募用紙を直接、女性活躍センターへ持参してください。  
応募用紙は、裏面です。市のホームページでもダウンロードできます。



作品には、  
「暴力を許さない」  
「あなたはひとりじゃないよ」

といった様々な想いが  
込められています。



## 申込み・問い合わせ

向日市女性活躍センターあすもあ

電話 075-963-6532/FAX 075-963-6517

向日市制施行50周年

つなごう、明日のむこうへ

## ～実行委員の思い～1年間を振り返って～



令和4年度の「いきいきフォーラム」は講師に東京大学大学院総合文化研究科教授 瀬地山 角さんをお迎えし「日常生活から学ぼうジェンダー論～笑って考える新しい女男（ひと）のあり方～」をテーマに講演をしていただきました。

多くの理解しやすい資料は、奈良県ご出身の瀬地山さん独特の関西弁で真実に沿ってわかりやすく語られました。

瀬地山さんの生活スタイルも矛盾がなく思いついたら即実行、しかも抱腹絶倒。納得のいくことばかりで大いに勉強になりました。

今回も質疑応答の時間を設けて多くの質問がありました。

講演会は人集めではなく、課題をもって学習するため、即ち意欲をもった人が参加していただきたい。これが延いては本当の勉強会で多くの人が集まると思います。私達は常に女男（ひと）の活躍の場を拡げる好循環を追求して行きたいと考えております。現実には厳しいものがありますが粘り強い活動が望まれます。

（女性）





新型コロナウイルス (Covid19) との戦いが終息しないままの地球で、人間同士の戦争が始まり、多くの命が奪われ人権侵害が続いています。ウイルスとは「共存」しようとしているのに、人類は核戦争まで危惧される状態です。京都市の姉妹都市キエフ (キーウ) は、森の中に街があるような歴史都市でしたが、それが現在のようになるとは、…とても想像できませんでした。自分の子や孫の未来を想うとき、小森香子さんの詞の一節「…出てゆく世界が戦火で血塗られ、泣いて見送る母には決してなるまい…」にあらためて共感します。

瀬地山先生による講演の中で、2つの事が心に残りました。1つは、「植林事業」の話が、わかりやすく本質的な問題として紹介されていました。競争社会では、「植林」をしない事業者が勝ち組となります。グローバル化の進行で、マネーは国境を越えて、弱肉強食の新自由主義が世界に押し寄せています。国際目標のSDGsの言う持続可能な社会、助け合い、支え合う社会は「今だけ、金だけ、自分だけ」という考えとは対極のものです。かつて、遠山啓氏は、教育は植林事業 (に似ている) と言われました。古代中国の「管子」に国家百年の計という思想がありますが、木を植えること、人を育てることは、100年先を考えての終身計画で、国家 (そして我々の) 責任だと思います。

もう1つは、「笑い」についてです。昔から、「笑う門には福来る」と言われたり、科学的にも、「笑い」が免疫をつかさどるナチュラルキラー細胞を活性化させると言われます。日々、体内に発生するがん細胞や侵入してくるウイルスを退治する (オミクロン株も基本的には抗原抗体反応でやっつける) のは、免疫しかありません。なので、「笑い」は大切なもので

しょう。ただ、日本語では“笑う”という1つの言葉ですが、英語では、smile, laugh, sneer・・・と区別されています。

以前、「自由」について、英語では、freedom (表現の自由), liberty (生存の自由), egoistic (好き勝手)と区別されていることを話題にしたことがあります。「笑う」も他動詞の sneer (嘲笑)になると、いじめや人権侵害につながります。ジェンダー平等を考える上では、特に気をつけていたいと思いました。

(男性)







私たち実行委員会は目指しているのは、フォーラムの名前にもあるように「自分らしく生きよう！」ということです。

「自分は男だから〇〇しないといけない」「女だから〇〇であるべき」と性別にとらわれ、してみたいことは我慢して、したくないことを自分をだましてまでするのが、本当に幸せでしょうか。また見た目や心のあり方、好きな人なども、それはその人個人の自由です。

日常に潜む「こうあるべき」に気づき、次にどうしたらいいのか、それを考えるきっかけになるのが毎年開催しているフォーラムです。毎月の実行委員会で、フォーラムに向けての準備をする以外にも、委員同士でジェンダーに関する新聞記事や書籍の紹介をするなどして、見識を深めています。

ぜひ皆さんも、実行委員にご応募ください。 (女性)





グローバル化の進む現代社会では、年齢差別、人種や出自など、あらゆる理由の元に『意識的』にも『無意識』のうちにも差別や偏見があり、様々なハラスメント、DV、ヘイトスピーチなど、国内外問わず争いごとの要因になっています。

国連では2015年に持続可能な開発目標（SDGs）を採択し、問題解決のための取り組みを行っており、その中には、【人や国の不平等をなくそう】や【ジェンダー平等を実現しよう】という項目がありますが、中でも日本におけるジェンダーギャップ（男女間格差）指数は146か国中116位（2022年）となっているばかりか、G7諸国内で同性婚を認めていないのは日本だけであり、ジェンダー後進国と言わざるを得ません。

憲法十四条に『すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。』とありますが、私たちの身近な家庭や職場、地域社会を思い浮かべて、『〇〇だから』『〇〇の人だから』などと固定観念で物事を捉えてはいないかを改めて考えさせられます。

(男性)





いきいきフォーラムの実行委員となり今年で2年目となりました。

「ジェンダー」という言葉にも少し慣れましたがまだまだ知識不足で皆様に教えていただくことがたくさんあってとても勉強になります。

今年度の講演会は瀬地山先生のお話でした。

先生の日々の経験からお話ししていただき、とてもテンポがよく、たくさん笑いました。すごく興味深いお話がたくさんあったので、もっとたくさんの方に聞いていただきたいなあと思いました。

私が子育てしていた頃は、お父さんが抱っこひもを使うことも、お父さんと子ども達だけでスーパーにお買い物に来ることもほとんどなく珍しいことでしたが、今ではよく見かけます。コロナ禍で在宅勤務が増え、子育ても変化してきているのではと感じます。

実行委員の人数が増え、意見やアイデアもその分増えて、参加していても楽しいです。

来年度も実行委員の人数が増えてより活気のある活動ができればいいなあと思っています。

(女性)





いきいきフォーラムとは何をされている会か全く分からないまま参加させて頂き一年が過ぎようとしています。

先日のイベント開催当日失敗しない様にそればかり考えて一日が終わりました。

この一年間は何事にも失敗しない様にの一言に尽きます。実行委員の皆様は知識、言葉が豊富な方ばかりで月一回の実行委員会が楽しみです。お勉強ができる様に思います。これからは気持ちに余裕を持って参加させて頂きます。ありがとうございました。

(女性)





今年度、初めて「いきいきフォーラム実行委員会」に参加させて頂き、何もわからずお役に立つ事ができるのかと心配しておりました。聞き慣れない言葉も多く、一つ一つが勉強になりました。色々な問題があり、考えさせられるお話でした。

男女共同参画については、現代共働きをされているご家庭も多く、家族が協力しないとできない事も多くあると思います。最近では男性も育児休暇がとれる会社が増えてきて、少しずつですが、社会も変化してきていると感じます。

しかし、実際は育児だけでなく男女差別は他にも有り、様々な問題を考える良い機会になりました。色々な方々のお話をお聞きできて大変良かったです。

ありがとうございました。

(女性)





今回初めて実行委員会に参加させて頂きまして、一年になろうとしていますが、何も解らないままに出席させて頂き、日を迫う毎に今まで知らなかった事が又、見えなかった事等が数多く学べる機会を頂きまして、お勉強させて頂けるチャンスでもあり大変やりがいのある、そして先輩の方々との交流で大変楽しく有意義のある場を頂きまして嬉しく思います。

そして12月に瀬地山先生をお招きしての「日常生活から学ぼうジェンダー論～笑って考える新しい女男（ひと）のあり方～」の内容は「男は家事力、女性は経済力」大切だとわかりやすくお話しして下さいましてジョークも入り、とっても素晴らしかったと私個人的にも思いましたが、友人の方達数名にお声かけさせて頂きました皆さんそれぞれが口をそろえて内容がすんなり入り良い楽しい時間を持たせて頂きましたと、とても好評でした！嬉しかったです。

次回も又良い企画を！と楽しみに！と言われました。

ジェンダー論これからおおいに若い男女に伝えてもっともっと若い人達にも積極的に呼びかけたく思います。ありがとうございました。

(女性)





令和4年度 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会  
年間の流れ

日程（原則第3水曜日）		内容
第1回	4月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介</li> <li>「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」について</li> <li>向日市男女共同参画施策について</li> <li>自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会について</li> <li>令和4年度のいきいきフォーラムの企画について</li> </ul>
第2回	5月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介</li> <li>いきいきフォーラムの企画について</li> </ul>
第3回	6月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきフォーラムの企画について</li> <li>講師について</li> <li>テーマ、内容について</li> </ul>
第4回	7月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師について</li> <li>日時について</li> <li>会場及び定員について</li> <li>テーマ、内容について</li> <li>予約及び優先入場券について</li> <li>同時開催について</li> <li>広報について</li> <li>配信について</li> <li>向日市まつりについて</li> </ul>
第5回	9月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきフォーラムの企画について</li> <li>いきいきフォーラムの役割分担について</li> <li>チラシ及び優先入場券の校正について</li> <li>当日アンケートについて</li> <li>講師派遣依頼にかかる予算費目について</li> </ul>
第6回	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきフォーラムの企画について</li> <li>いきいきフォーラムの役割分担について</li> <li>チラシ及び優先入場券の校正について</li> <li>オンデマンド配信について</li> </ul>
第7回	11月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきフォーラムの企画について</li> <li>いきいきフォーラムの役割分担について</li> <li>いきいきフォーラム実行委員会のパネルについて</li> <li>横断幕について</li> <li>オンデマンド配信について</li> </ul>
	12月10日	☆自分らしく生きよう！いきいきフォーラム
第8回	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきフォーラムについて</li> <li>いきいきフォーラムの感想について</li> <li>令和5年度における「いきいきフォーラム」の名称について</li> <li>記録集の作成について</li> <li>講師への支払いについて</li> </ul>
第9回	1月25日 (大雪のため中止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度における「いきいきフォーラム」の名称について</li> <li>「いきいきフォーラム」記録集について</li> </ul>
第10回	2月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いきいきフォーラム」記録集について</li> <li>次年度自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会について</li> </ul>
第11回	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いきいきフォーラム」記録集について</li> <li>次年度自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会について</li> </ul>

※11月の向日市まつりが自粛になったため、フォーラムコーナーでの啓発活動も中止となりました。

## キーワード



### ジェンダー（社会的性別）

人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性・女性の別を「社会的性別」（ジェンダー／gender）とといいます。「社会的性別」はそれ自体良い、悪い価値を含むものではなく、国際的にも使われています。



### SOGI（ソジ）

Sexual Orientation（セクシュアル・オリエンテーション） and Gender Identity（ジェンダー・アイデンティティ）

の頭文字のことで、性的指向/性自認のことをいいます。

LGBTが

Lesbian（レズビアン）…女性同性愛者

Gay（ゲイ）…男性同性愛者

Bisexual（バイセクシュアル）…両性愛者

Transgender（トランスジェンダー）

…性同一性障がいを含む、身体の性にとらわれない性別のあり方を持つ人という「誰」を指すのに対して、SOGIは「状態」を指すため、私たち全員が含まれます。



### 固定的性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。



### SDGs（エスディーゼズ 持続可能な開発目標）

国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための17の目標から成る国際目標であり、誰一人取り残さないことを誓っています。SDGsは、経済・社会・環境の各分野の課題について総合的な解決を目指すものです。

目標5に「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられています。



### エンパワーメント

自らの意識と能力を高め、家庭や地域、職場などあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的、文化的に力をつけること、及びそうした力を持った主体的な存在となり、力を発揮し、行動していくことをいいます。



### ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加など、個人や多様なライフスタイルの家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすることをいいます。



### ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくものです。

積極的改善措置の例としては、国の審議会等委員への女性の登用のための目標の設定や、女性国家公務員の採用・登用の促進等が実施されています。



### ハラスメント

主なハラスメントとして以下の5点が挙げられます。

#### ○セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

他者が嫌がっているにも関わらず、性的な嫌がらせをすることです。女性が被害を受けるイメージのあるセクハラですが、近年では男性が被害を受けることもあります。

#### ○パワーハラスメント（パワハラ）

同じ職場で働く人に対して、職務上の地位などの優位性をふりかざし、業務範囲外で精神的・身体的な苦痛を与えることです。

#### ○マタニティ・ハラスメント（マタハラ）

妊娠・出産・子育てに対して嫌がらせを受けるなど、女性に向けたハラスメントがマタハラです。マタハラは法律で禁止されており、企業に防止措置が義務付けられています。

#### ○パタニティ・ハラスメント（パタハラ）

男性の育児休業制度利用等の育児参加に対する嫌がらせをすることです。

#### ○モラル・ハラスメント（モラハラ）

言葉や態度、身振りや文書などによって、人間的人格や尊厳を傷つけたり、肉体的、精神的に傷を負わせることです。



### ドメスティック・バイオレンス（DV）

夫婦や恋人などの親しいパートナー間で行われる暴力のことで、その多くは男性から女性に振るわれています。殴る、蹴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的暴力や性的暴力、社会的暴力、経済的暴力、子どもを巻き添えにした暴力※なども、DVに含まれます。

（※子どもの前でふるわれる暴力は児童虐待にあたりとされています。）



### パープルリボン運動

1994年にアメリカで始まった女性に対する暴力根絶の運動です。DVや虐待など、個人間にある暴力をなくすことや、暴力の被害にあっている人たちの安全を守り、勇気を与えること、また暴力の問題に関心を持ってもらうことを目的に、一人一人が参加、行動できる運動です。



### リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、今日、女性の人権の重要な一つとして認識されるに至っています。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれており、また、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。



### 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（女性差別撤廃条約）

1979年、国連で生まれた女性差別撤廃条約は、あらゆる分野で、女性が性に基づく差別を受けない権利と平等の権利を保障しています。目指すのは、「男らしさ」「女らしさ」の呪縛から解放されて、誰もが性別にとらわれず自分らしく生きること、法律や規則のなかの差別はもちろん、社会慣習・慣行の中の性差別をなくすことも求めています。1985年、日本はこの条約を批准し、条約批准国は189か国（2021年）となっています。



### 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約の選択議定書

女性差別撤廃条約制定から20年を経た1999年、条約の実効性を強化し、一人ひとりの女性が抱える問題を解決するために、あらためて採択されたのが女性差別撤廃条約選択議定書で、それには「個人通報制度」と「調査制度」の2つの手続きがあり、それらを利用するには、批准が必要で、批准国は114か国（2021年）となっていますが、日本はまだこれを実行していません。向日市では、2022年3月の定例議会で、女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書を全会一致で可決しました。



### 「無戸籍」問題

国民の一人であるのに、戸籍がないため無権利状態に置かれている無戸籍者は全国で一万人を超すと推計されています。主な原因は嫡出規定にあり、旧民法では離婚から300日以内に生まれた子は前夫の子、再婚から200日を経過した後に生まれた子は現夫の子と規定し、期間の重複を避けるため、女性には離婚後100日間の再婚を禁じてきました。しかし、家庭内暴力などで夫と別れた女性が離婚成立後、300日以内に別の男性との子を産み、前夫の子とされることを避けるために出生届を出さず、子どもが無戸籍になる事例が相次ぎました。こうした事態を防ぐため、約120年ぶりの民法が改正され、300日規定は残しつつ、女性が再婚した場合は生まれた子を現夫の子とする例外規定を新設されました。離婚後100日間の女性の再婚禁止規定も撤廃されました。さらに父子関係を否定する嫡出否認申し立ての権利を旧来の父のみから、母子にも広げ、申立期間も出生を知ってから1年を3年に延ばされました。

## 男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

(男女共同参画社会基本法第2条)

## 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員

「いきいきフォーラム」は、向日市男女共同参画プランに基づき、人権尊重、男女共同参画社会の実現をめざし、誰もが共に考える場として毎年開催され、1994年度からは、市民参画のため実行委員会形式がとられています。

実行委員は、毎月1回、委員会を開いて、男女共同参画の現状や意識改革、また人権の尊重について学習しながら、フォーラムの企画を行っています。

自分らしく生きよう！いきいきフォーラムの「自分らしく生きよう！」とは「男女、女男を超えて」という思いを込めて付けられた名前です。



亀村 和子  
川阪 宏子  
慶松 和郎  
澤 清史  
多田 久美子  
田中 初子  
能地 あけみ  
山本 壽美  
(50音順)

A decorative border with a repeating floral and scrollwork pattern surrounds the central text.

主催

自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会  
向日市

編集／いきいきフォーラム実行委員会

発行／いきいきフォーラム実行委員会

問い合わせ／向日市ふるさと創生推進部広聴協働課

〒617-8665

京都府向日市寺戸町中野20番地

TEL (075) 874-1409

FAX (075) 922-6587